



平成29年4月28日

各 位

上場会社名 新日本理化株式会社  
 代表者 代表取締役社長執行役員 藤本 万太郎  
 (コード番号 4406)  
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員管理本部長 石野 淳  
 (TEL 06-6202-6598)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年2月10日に公表した平成29年3月期(連結・個別)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,600	0	△50	△180	△4.83
今回修正予想(B)	26,000	△440	△370	△550	△14.75
増減額(B-A)	400	△440	△320	△370	
増減率(%)	1.6	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	27,884	346	376	97	2.61

平成29年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,800	△200	△230	△6.17
今回修正予想(B)	23,100	△590	△920	△24.67
増減額(B-A)	300	△390	△690	
増減率(%)	1.3	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	25,110	309	89	2.41

#### 修正の理由

売上高についてはほぼ予想通りとなりましたが、各利益については前回予想を下回る見込みとなりました。主に可塑剤製品において、安価な輸入品の流入による影響を受け、厳しい収益状況が続いている中、加えて原料価格高騰に応じた価格対応に遅れが出たことが最大の要因であります。また、競争の厳しい自動車用途向け樹脂原料製品の海外市場において想定利益を確保することができませんでした。なお、個別決算においては海外関係会社株式の減損処理を行ったことによる損失を計上しておりますが、連結決算においては相殺消去しております。

※上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上